

(4) 中富健康科学振興賞 (交付金額: 200万円)

平成25年度 中富健康科学振興賞 受賞者履歴	
氏名	宇佐美 暢久(うさみ まさひさ) 所属: 恵陽会東天満クリニック 生年月日: 1931年9月6日
推薦学会	日本体力医学会
現職及び略歴	<p>(学歴)</p> <p>昭和31年3月 千葉大学医学部卒業</p> <p>(職歴)</p> <p>昭和32年5月 同上第2内科入局 循環器病学を専攻。循環分析、運動負荷試験などの研究に従事</p> <p>昭和32年7月 医師免許取得</p> <p>昭和38年7月 第2内科助手</p> <p>昭和38年12月 学位取得 (医学博士)</p> <p>昭和45年6月 同上講師</p> <p>昭和46年8月 同上辞職</p> <p>昭和46年9月 財団法人住友病院内科医長</p> <p>平成3年11月 同上副院長</p> <p>平成8年12月 同上辞職</p> <p>平成9年1月 住友生命保険相互会社本社診療所長兼健康管理室長</p> <p>平成16年9月 同上辞職</p> <p>平成16年10月 医療法人東天満クリニック名誉院長 (現在に至る)</p> <p>(日本体力医学会における業績)</p> <p>昭和40年10月 入会</p> <p>昭和61年9月 評議員 (～平成15年3月まで)</p> <p>昭和63年4月 理事 (～平成15年3月まで)</p> <p>昭和63年4月 学会誌『体力科学』編集委員長 (～平成12年3月まで)</p> <p>平成7年9月 名誉健康科学アドバイザー (現在に至る)</p> <p>平成9年9月 第52回日本体力医学会 (大阪大会) 大会長</p> <p>平成16年4月 名誉会員 (現在に至る)</p> <p>(地域における活動)</p> <p>平成2年 大阪府医師会健康スポーツ委員会委員 (現在に至る)</p> <p>平成12年 同上副委員長 (～平成17年まで)</p> <p>平成18年 同上委員長 (現在に至る)</p> <p>平成21年11月 20年間の委員在任者として表彰を受ける</p> <p>平成2年 大阪体育協会スポーツ医・科学委員会委員 (現在に至る)</p> <p>平成18年 同上委員長 (～平成21年まで)</p> <p>平成19年 健康・体力づくり事業財団による健康運動指導士養成講習 (近畿地区) 担当 (現在に至る)</p> <p>平成25年9月 健康運動指導士教育並びに同養成事業の発展に寄与せるものとして表彰を受ける</p> <p>(その他の学会役員)</p> <p>日本心臓核医学会名誉会員</p> <p>日本内科学会近畿地方会評議員</p> <p>日本循環器学会近畿地方会評議員</p> <p>(研究論文・著書)</p> <p>エルゴメトリー (運動負荷試験による心臓病診断)</p> <p>循環器疾患の非侵襲敵検査</p> <p>運動と寿命</p> <p>スポーツ医学QandA</p> <p>臨床スポーツ医学</p> <p>(賞罰)</p> <p>なし</p>

平成25年度 中富健康科学振興賞 受賞者履歴

氏名	原田 昭太郎(はらだ しょうたろう) 昭和11年生まれ
推薦学会	日本皮膚科学会
現職及び略歴	<p>(学歴及び職歴)</p> <p>1962年(昭和37) 東京大学医学部卒業 1962年(昭和37) 東京大学医学部附属病院に於いて実施修練 1963年(昭和38) 東京大学医学部附属病院皮膚科医局入局、文部教官(東京大学助手医学部附属病院) 1965年(昭和40) 関東労災病院勤務、文部教官(東京大学助手医学部附属病院) 1967年(昭和42) 関東逋信病院皮膚科勤務 1973年(昭和48) 関東逋信病院皮膚科副部長、文部教官(東京大学助手医学部附属病院) 東京大学医学部附属病院皮膚科医局長 1974年(昭和49) 教員職(東京大学講師医学部)、東京大学医学部附属病院病棟医長 1980年(昭和55) 東京大学医学部附属病院外来医長 1981年(昭和56) 虎の門病院皮膚科部長 1984年(昭和59) 関東逋信病院皮膚科部長(現:NTT東日本関東病院) 1995年(平成07) 関東逋信病院副院長(部長兼務) 2002年(平成14) NTT東日本関東病院を定年退職</p> <p>(所属学会及び役員)</p> <p>日本皮膚科学会(理事長 就任期間:1996(平成8)年4月~2002(平成14)年3月) 日本化粧品学会(理事長 就任期間:2003(平成15)年6月~2007(平成19)年5月) 日本皮膚アレルギー学会(理事)、日本乾癬学会(理事)、日本臨床皮膚科医学会(理事)、日本皮膚悪性腫瘍学会、日本臨床薬理学会など。</p> <p>(功績)</p> <p>1) 日本皮膚科学会理事長として、日本皮膚科学会総会を教育講演主体の形式に変更し、会員のレベル向上に大いに寄与した。 2) 日本化粧品学会理事長として、機能性化粧品評価法ガイドラインを策定し化粧品の機能と安全性の向上に大いに寄与した。 3) 東京大学皮膚科及びNTT東日本関東病院皮膚科に在職中に、皮膚疾患治療材の数多くの臨床開発試験において中心的役割を果たし、現在の本邦の皮膚科診療に多大なる貢献をし、かつ患者のQOLの飛躍的向上をもたらした。</p> <p>(主な著書)</p> <p>1. 原田昭太郎:非ステロイド系外用薬,今日の皮膚疾患、治療指針,143~144,1997年度版,医学書院 2. 原田昭太郎:貨幣状湿疹,自家感作性皮膚炎,93~94:Biennial,1997南光堂.1997 3. 原田昭太郎:炎症性の角化症/尋常性乾癬,類乾癬,扁平苔癬,ジベール薔薇色糝糠疹,936~939:家庭医学事典,法研.1997 4. 原田昭太郎:乾癬,242~243:病院えらび事典:文藝春秋.1997 5. 原田昭太郎:今日の治療指針-私はこう治療している〔ポケット判〕- ,21.皮膚疾患,じん麻疹,医学書院:659,1997.12</p> <p style="text-align: right;">他 52編</p> <p>(主な原著論文)</p> <p>1. Masataka Furue, Shotaro Harada: SCLEROTIC Fibroma of the Skin Arising on the Nasal Ala, Journal of Dermatology, 20:252-253, 1993.4 2. Hideshi Torii, Takehiko Kaneko, Tomohiko Matsuyama, Hiroshi Nakanishi, Shotaro Harada: Interferon-α (INF-α) and Etretinate in the Treatment of Mycosis Fungoides: Journal of Dermatology, 21:767-770, 1994.10 3. Shinichi Watanabe, Tomohiko Matsuyama, Shotaro Harada at all: Trichoblastic Fibroma, The American Journal of Dermatopathology, 18(3):308-313, 1996 4. H.Torii, T.Matsuyama, S.Harada at all: Trichogenic trichoblastoma arising on the supraclavicular fossa with an immunohistochemical study of cytokeratin expression, Clinical and Experimental Dermatology, 22:183-188, 1997.8 5. 川島眞,原田昭太郎,五十嵐敦之,松山友彦,北原比呂人,林伸和ほか:アトピー性皮膚炎に対するFK506(タクロリムス)軟膏の長期観察試験-2年間の観察-,臨床医薬:17,5,705-726,2001.5</p> <p style="text-align: right;">他 367編</p>